

学園聖句： 「光の子らしく歩きなさい」  
(エペソ人への手紙5章8節)

### 建学の精神 EST. 1935 (昭和10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

#### 普通科

- 特進コース
- 普通コース
- 健康福祉コース
- 保育コース
- インターコース
- 一貫コース

#### 看護科

- 看護科
- 看護専攻科

#### 商業科

- 商業コース
- 美容専攻コース
- 製菓衛生師コース

#### 健康福祉コース

#### 宣誓式

9月24日(木)、第18回介護実習宣誓式があり1年生21名が実習に向けての誓いを述べ、9月28日(月)～10月2日(金)までの一週間、12施設で2～3名のグループに分かれて行いました。



#### 特別講演会

9月26日(土)、特別講演があり「生き方のデザイン研究所」の山口恵美子先生とボランティアの方5名をお迎えし、1年生は「視覚障害者ガイド入門」、2年生は「コミュニケーション講座(要約筆記)」に分かれ、研修しました。



盲導犬も来てくれました。



#### 第2回学校見学会

9月19日(土)、第2回学校見学会があり、530名を超える中学生や保護者の方の参加がありました。授業体験や保護者向けの入試制度についての説明を行い活気ある見学会になりました。



全体会(左上)、  
保育(右上)、  
美容(左下)、  
もりおん(右下)



健康福祉(↑)

## 体育祭

9月9日(水)、グローバルアリーナ(宗像市)にて2015年度体育祭がありました。「勇往邁進～突き進め、輝く未来～」のテーマのもと、赤・黄・青の3ブロックに分かれて熱戦を繰り広げました。時折小雨が降るスタートとなりましたが、今年度は創立80周年を迎え、応援団の演舞や舞の披露があり記念に残る体育祭となりました。



応援団の演舞(左)と舞(右)



募集定員(推薦・一般) 340名【普通科 150名/看護科・看護専攻科<五年一貫> 70名/商業科 120名】

### 推薦入試要項

学科	コース	出願期間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成28年 1月8日(金)～ 1月20日(水)  受付 午前9時～午後6時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後3時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

### 一般入試要項

学科	コース	出願期間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成28年 1月8日(金)～ 1月27日(水)  受付 午前9時～午後6時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後3時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

試験日	試験科目(基礎学力)	合格発表
平成28年 1月26日(火)	国語・数学・面接  特進・看護のみ 国語・数学・英語・面接	平成28年 1月28日(木)

試験日	試験科目	合格発表
平成28年 2月4日(木)	国語・数学・社会・理科・英語	平成28年 2月8日(月)

## 学校見学会(予定)

- ・ 学校紹介
- ・ 校内見学
- ・ 進学相談
- ・ 授業体験
- ・ クラブ紹介
- ・ 入試対策 等

第3回 10月17日(土)

第4回 11月14日(土)

## 「草創期の黒田藩と栗山大膳」黒田家と宇都宮家の抗争⑫

何も知らない秀吉は使者を歓待します。宴会の終わった後に、明の国書を読ませると、「汝を日本国王とする」と書いてあるではありませんか。秀吉は違約を大変怒って、再度出兵を命ずることになります。これが慶長の役と云われるものです。官兵衛は再び再征軍の主将小早川秀秋の軍監に任ぜられて、慶長二年(1597)、秀秋と共に渡鮮します。この時の再征軍の編成は、攻撃隊十二万一千人、留守隊二万三百九十人で、黒田長政軍は攻撃隊の三番手に編成されて、五千人の軍勢を連れて渡鮮する事になります。長政は一旦中津に引き返し、五千の軍勢を整えて名護屋に集結したのは六月の末でした。慶長二年(1597)六月末、総大将小早川秀秋を千頭に釜山に向かって進撃を開始することになります。今回の征鮮軍の方針は、文禄の役が戦線の拡大と、長大化による苦戦の経験から、日本からの補給が容易な南鮮の主要地を確保して、朝鮮人民との融和を図り、領土の確保を狙ったものでした。

小田弘之著書「草創期の黒田藩と栗山大膳」より